

財務の概要

施設整備の主な整備状況

大学

教育研究用機器備品	2, 7 5 1, 5 2 6 円	理科室顕微鏡・器具備品他
管理用機器備品	2, 4 4 0, 8 0 0 円	パソコン・絵画
図書	3, 0 7 6, 4 4 2 円	
車両	3, 6 5 9, 7 2 0 円	乗用車（取替）
建設仮勘定	1 0, 0 0 0, 0 0 0 円	土地内金

大学院

図書	3 9, 4 4 2 円	
----	--------------	--

短期大学部

建物（附属設備）	9 0 7, 2 0 0 円	1号館照明器具交換
図書	8 2 8, 2 7 2 円	

看護学部

図書	2, 9 1 1, 0 6 1 円	
----	-------------------	--

専門学校

教育研究用機器備品	1 0 3, 4 6 4 円	パソコン
図書	3 8, 9 8 8 円	

リハビリテーション学部

教育研究用機器備品	5, 5 5 6, 6 0 0 円	三次元動作解析装置ソフト更新他
図書	3, 3 4 3, 1 5 5 円	

幼稚園

建物	2, 6 0 0, 0 0 0 円	園舎改修工事設計管理料
構築物	1 3 1, 7 6 0 円	看板補修工事
管理用機器備品	1 3 2, 1 0 5 円	FMBITEBOOK

法人

建物	5 5, 0 0 0, 0 0 0 円	研修所
構築物	6, 0 0 0, 0 0 0 円	研修所造園工事
管理用機器備品	3 8 2, 1 2 3 円	応接セット・置時計

公認会計士と監事の監査報告並びに・財務計算の資金収支計算書と経年推移・活動区分資金収支計算書・事業活動収支計算書と経年推移・貸借対照表と経年推移・事業活動収支関係比率経年推移・貸借対照表関係比率経年推移は別掲のとおりである。また平成29年度の財務概要としての施設整備状況は前記のとおりである。特に今年度における学生学習環境改善としては社会福祉学部の理科室、リハビリテーション学部最新の教育研究用機器を配備し、各学部・部門において本年度も図書蔵書の見直し整備を継続している。学生定員確保においては、短期大学・専門学校・幼稚園は時代的な現状から難しい運営が続いているがリハビリテーション学部・看護学部はともに入学定員・収容定員を引き続き充足し、今後においても学生確保は十分に見込まれる。また、学生生徒等納付金収入は前期と比較し5.2%程度の減額の決算額である

が経常経費依存率は数年平均的にほぼ90%台で推移しており、学生生徒に対する教育的還元は行き届いていると思われる。今年度も施設整備を拡充させたことから繰越収支差額は若干の増額ではあるが施設拡充引当金は着実に計上できており将来構想に満たされている。資金的には当分外部借入金等に頼ることなく自己資金で資金計画を組み立て健全な財政運営を持続していく方針である。さらに次年度においても財務状況は良好に維持できるよう努力しなければならないところである。そして今後も大学法人としての教育研究目的を順当に達成するため必要な財政基盤をしっかりと確保し、継続的に収支バランスのとれた運営を目指して行く方針である。

財務運営の状況として5ヶ年経年推移を表にして別掲しているが今年度より事業活動収支計算書関係の財務比率をより分かり易く棒グラフにして追加した。